



8月中旬から秋季西播地区高等学校野球大会が開催されました。本校は県立太子高校、県立夢前高校と合同チームを結成し大会に出場しました。部員8名のため助っ人をお願いし単独出場することも考えましたが、部員以外で野球経験者が少ないことや、正部員にもけが人がいることを考慮し、合同チームをお願いすることにしました。

秋季西播地区大会

1回戦 対 姫路商業高校

三校連合	000	000	010	1
姫路商業	130	000	000	4

初回の守備、先頭打者に四球を出し、そこからピンチを招きタイムリーで1点先制されます。続く2回も連打と守備のミスが重なり、3点を追加され序盤で4点を先行される苦しい立ち上がりとなりました。しかし、そこから粘り、毎回ランナーを背負いながらも無失点でしのぎ続けます。攻撃では相手投手の外ストレートに手を出せず、投手有利のカウントで勝負することが多くなり、なかなか活路を見出せません。5回の整備を挟んだ後の攻撃では、ランナーを動かしながらチャンスを作りますが、8回に1点を返すのがやっと。そのまま1-4で敗れました。練習試合では得点力のあった打線でしたが、打席で消極的になってしまったために、散発で終わり、結果的に1点で抑えられる展開になってしまいました。守備では、我慢の展開でしたが全員で声を掛け合いながら守ることができていたと思います。得点力に課題が残る試合でしたが、今までなかなかできなかった我慢ができた試合ではありました。

敗者復活トーナメント

1回戦 対 神崎・上郡連合

二校連合	203	006	050	16
三校連合	000	070	300	10

初戦とは打って変わり、荒れた試合となりました。序盤で5点を失い、早めに点差を詰めたところでしたが相手投手のカウント球に手を出せず、なかなかチャンスが広がりませんでした。整備前最後の攻撃となる5回、1死から安打と四球で満塁のチャンスを作ると高谷の走者一掃タイムリー3ベースで3点を返します。それを皮切りに一挙7点を奪い逆転に成功します。意気揚々

と後半戦を迎えましたが、すぐに6点を奪われ、再びリードを許します。ここで集中力が切れてしまったのか、これ以降の守備では要所でミスが目立ち、結局後半の大量失点を取り返せず、10-16で敗れました。

2戦通して、チームとして戦うことや、最後まで粘り強く戦うことができなかつたように思います。練習から、全員で目標を達成するために我慢する力を身につけなければ、「勝つチーム」にはなれないと思います。野球への取り組み方、学校生活、日常生活、まだまだ勝つチームにはなれていないということです。厳しいことを言いますが、現状の練習は勝つチームの雰囲気ではありません。温い野球はやめてください。勝ちたいのであれば変わるしかありません。甘えるな。

また部活動休止・・・

緊急事態宣言が発令されたため、またも部活動が休止となってしまいました。今までと同様に練習日誌を書いてもらおうとも思いましたが、秋季大会が終了し、練習ももちろんですが、時間がゆっくりとれるこの時期に、「野球脳」の面で成長してもらおうと考え、レポートを課すことにしました。最近「読書離れ」が進んでいると言われてます。この機会に1冊をしっかりと読み切り、チームメートに還元できるように分かりやすくレポートを書いてほしいと思います。

そんな中、なかなか貸し出しの本を借りに来ない選手が何名かいます。来年の夏に単独で3勝したいというのは口だけ？と思ってしまいます。人から与えられたモチベーションなんてもので成長はできません。自分を変えられるのは自分だけです。

皆さんのレポートを楽しみにしています。

世のため人のため

私は今、体育の授業で1年生にソフトボールを教えています。どのクラスにも野球部員がいますが、ソフトボールの道具の準備や片付けを率先して行ってくれます。本当に素晴らしいことだと思います。頼んだら快く動いてくれますし、頼まなくてもやってくれる時もあります。誰かのために行動することを厭わない人間になってほしいと思いますし、自分の損得だけで動く人間にはなってほしくないと思っています。純粹に行動する1年生を見て、「自分はしっかり行動できているかな」と考えさせられました。指導者と選手、共に成長させあえる関係でいたいですね。